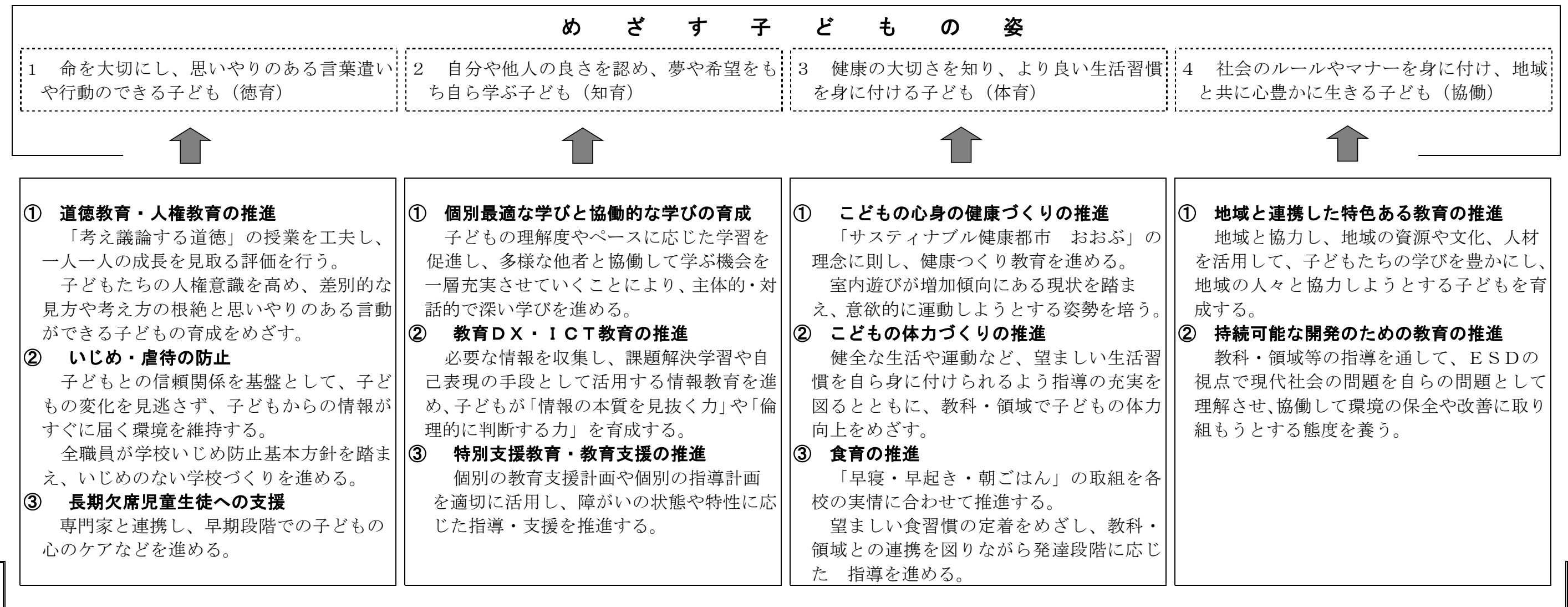


大府市学校教育の基本理念 心身ともに健康で知恵と愛を持つ児童生徒の育成



令和8年度の重点

- 1 幼保児小中連携教育の趣旨を踏まえ、子どもたち一人ひとりの成長を見通した指導を進める。**
 - 大府市幼保児小中連携教育の指針「きらきら」を実践基盤として、子育て関係施設との連携を密にして子どもたちの健全育成を図る。
 - 子どもたち一人ひとりと向き合い、きめ細かな指導とともに、子どもたちが積極的に学び成長しようとする意欲を喚起する。
 - 長期欠席者の日々の生活と居場所づくりについて、「おおぶレインボープラン」の実現を通して継続的に支援する。
- 2 授業に誇りと責任をもち、子どもたちがわかる・できる喜びを実感することのできる学習指導を進める。**
 - 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実により、「主体的・対話的で深い学び」となるよう授業改善を図る。
 - 「読み・書き・計算」など学習の基礎を定着させる。
 - ICTを含む様々なツールを駆使して、複数の情報や考えをつないだり、関連付けたりして「深い学び」となる学習の展開を図る。
- 3 子どもたちの心を育てる道徳の授業・教育活動を進める。**
 - 「考え議論する道徳」の授業を主軸とし、思いやりや責任感、郷土愛（大府市にゆかりのある人などの活用）を育てる活動を推進する。
 - 「デジタル・シティズンシップ」「こどものウェルビーイング」の視点を取入れ、子どもたちの自立心や自律性、自己存在感を育成する。
- 4 子どもたちの体力・運動能力の向上に努めるとともに、運動の習慣化を進める。**
 - 学校生活の中で体を動かす機会を多くするとともに、家庭生活においても意欲的に楽しく運動できるように啓発する。
 - 体育の授業では、幼児期からの発達段階を踏まえ、運動の質と量について工夫改善を図りながら、指導にあたる。
- 5 家庭や地域と共に歩む学校づくりを進める。**
 - 子どもや教職員の活躍する姿を保護者や地域の方々に積極的に公開することで、学校への信頼を一層深められるようにする。
 - 職務の効率的な遂行を心がけ、教職員が明るく元気で、家庭や地域と共に歩む“チーム学校”を求め続ける。

